

## 全従業員諸君よ！

俺達の要求を携<sup>ヒツ</sup>げて當局に肉薄する日も餘す所三日の後に押迫つた！  
戦端は開かれんとして、暗雲累疊、危機を孕<sup>ム</sup>んで刻々と通りつゝあるのだ。  
一見平穩無事なるか、に見へても、それは彼奴等の假裝（カモフラージュ）が巧妙になされてゐるからなのだ。

すべては嵐の前の静けさだ——やがて来る暴風の嵐は阿修羅となつて暴れ狂ふであらう。  
起て！ 起て！ 今こそ断然起つて要求の貫徹を獲得しなければならぬ。要求提出日には臨時従業員大會を開いて大衆の威力を示めせ！ その威力を以つて一氣に戦ひ取れ！  
被壓迫大衆の持てる恐ろしい底力を出すんだ——呪はれし者の怨み、虐げられし者の憎<sup>ミ</sup>しみは骨髓に徹してゐるんだ！

戦は各所に起り激しい闘争が展開されてゐる。ドックに、京濱電鐵に、東京郊外電鐵に、東電等々に、今や俺達の兄弟は血みどろな闘争を續けてゐる。東京市電の兄弟も神戸市電の兄弟達も新たな陣容を整へ新しい戦術によつて闘ふべく用意をさ〜怠りないのだ。

俺達も躊躇しては居られない。俺達はお互ひに屍を越えて進むと誓つた同志ぢやないか！  
よし、身は寸断され様とも、背後には百萬の同志がある。俺達は俺達の正しき道を辿らなければならぬ——詰<sup>アガキ</sup>すまで——。

一人の犠牲は萬人の戦士を生む——悲しみの来る毎に吾等の結束は愈々固められるばかりだ。

## 全従業員諸君よ！

刮<sup>クワ</sup>目してよく見ろ！

此の危急の秋<sup>トキ</sup>に際して當局のとれる態度のすべてを——一擧手一投足にも決して眼を離すな！  
裏の裏まで看抜いて、カラクリの爲に偽瞞<sup>マコ</sup>されるな！ 幻惑されてはならない。

片手に好餌<sup>コウニ</sup>を籠<sup>カゴ</sup>りに、片手には鐵鞭<sup>テツペ</sup>高く振舞<sup>マ</sup>す——といふのが今當局のとれる態度だ。  
することなすこと最早常態を逸して狂人のそれだ、本市中唯一の繁忙時バザー期間中毎日々々六十有餘名の従業員を引抜き藤澤クンダラまで連出し莫大な失費を敢へてするなど苟も、本市の現狀を憂慮し、經濟復興を唱へ、交通運輸の重要性を説く者の斷じて爲す能はざる處だ！  
殊に六月十三日附日報號外に於ては、憶面もなく大震災以來の臥薪嘗膽の苦みにまで言及してゐるに至つては笑止の至りだ。

厚顔と云ひ、無恥と云ひ彼永田に至つては最早言語に絶するものだ。  
何が復興だ？ 何が重要性だ？ 何が血管だ？ 復興完成の末期に漂然（兵然とも云ふ）と現はれて鼻<sup>ハナ</sup>には復興の父とまで云はれた、渡邊氏以降の眞實の功勞者多數を遂放し後釜<sup>ゴカマ</sup>には狐狸にも近い腹黒の閣下を以て堀藩となし身を安住に置かなん、なんぞ全く其職責を無視し冒瀆するの甚だしきものにして遺憾以上の遺憾だ！

先日の市會に於て同業港灣部長がセメント監理問題で責任を糾弾され悲鳴を擧げたるに會し彼は周章狼狽、蒼皇として多量<sup>タリヤウ</sup>のセメントを某所に埋葬せしめ恬然としてゐると傳へらる。又此度の惡制施行に就て、金井市議より「かゝる苛酷な罰則づくめの制度は、凡らく全世界に其類例がないだらう」と論難され、而も「市電當局では能率が上つて居ると云ふが能率が上るにも拘らず従業員の収入が減する矛盾を如何となすか？」と攻撃され、タヂ〜だつたではないか！

曩<sup>ナ</sup>には二萬餘圓の巨費を投じ建腐れの爲の建築をしたり、必要以上の廣大な停車場を建設して持て餘してゐる。而も自らは高給を貪り専用自動車に納まり屢々豪華華麗な料亭の中に姿をかき消すなど、非常手段に出で市民に重い負擔を忍んで貰ふ理由には毫もならぬのだ！！

會ては最高學府の師なりとする局長が而も場所柄もあらうに修養會の講話の席上、範を示すに不敬な態度傲慢な舉措を以つてしたなぞ如何に雄辨を以てしやうとも斷じて許されぬ！ 一大不祥事だ！ その證據として茶話會に臨めなかつた事實があるではないか、

然して先日の市會席上二三の質問に對してさへ明答を避け専ら泣付き、妥協を策してゐるではないか、而も身、自らの無能なるを悉く従業員のなす所の如く言放つて責任を轉嫁せんとして居るのである。

尙々彼は此度の惡制施行は市會の意志だとか云ひ、因つて来る責任を悉く市會へナスリ付けんと企<sup>ア</sup>らんでゐるではないか！！